

会 議 結 果

会 議 名 (審議会等)	令和7年度 第2回高砂市子ども・子育て部会
開催日時	令和8年2月4日(水) 18時30分～20時00分
場 所	高砂市役所 南庁舎5階 大会議室
会議公表	<input checked="" type="checkbox"/> 公 開 (傍聴者定員数: 3 人) (傍聴者数: 0 人) <input type="checkbox"/> 非公開 (非公開理由: (例) 情報公開条例第7条の規程に該当するため。等)
事務局 (担当課)	健康こども部 子育て支援課 (TEL 079-443-9024)
議 題	(1) こども誰でも通園制度について (2) 認定こども園こどものその保育園の建替えについて (3) こども向けオンラインアンケートについて
出席委員	委員7人(欠席6人)
結 果 (議事録又は議事概要)	
発 言 者	内 容
事務局	<p>1 開 会</p> <p>それでは、令和7年度第2回高砂市子ども・子育て部会を開会いたします。</p> <p>開会に先立ちまして、当会議の公開について、高砂市審議会等の会議の公開に関する指針に基づきまして、公開とさせていただきます。</p> <p>本日の傍聴者はなしとなっておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは議題に入ります前に、本日、委員13名のうち、現在7名の委員の出席をいただいております。遅れての出席も聞いております。</p> <p>出席者が過半数となっておりますので、子ども・子育て・若者会議条例第6条第2項によりまして、会議が成立しますことをご報告申し上げます。</p> <p>これより会議の進行につきましては、部会長にお願いしたいと思います。</p> <p>それでは部会長よろしくお願いいたします。</p>
部会長	<p>みなさま、こんばんは。</p> <p>今日はお集まりいただきましてありがとうございます。</p> <p>私は、昨日まで岩手県にいました。調査で行っていたんですが、すごい雪の中を歩いて過ごしていたら、沖縄の友達から今朝LINEで写真が届きまして、寒緋桜って言</p>

	<p>う本州で咲いている桜とは違う桜が満開ですって春の便りを届けてくれました。日本は北から南までいろいろあるなど。雪国から帰った朝に見た桜は格別でした。</p> <p>ただ、今日は寒さが緩んでいる感じで、夜遅く帰っていただくのも、大丈夫かなと思っております。</p> <p>それでは、早速ですが議題に入りたいと思います。</p> <p>そのうち委員の皆様も来ていただけるかなと思います。</p> <p>それでは、議題の1、こども誰でも通園制度について、事務局からご説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>2 議 題</p> <p>(1) こども誰でも通園制度について</p> <p>【事務局より資料1, 2, 3, 4に基づいて説明】</p>
部会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>事務局からの説明が終わりましたので、ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問等がございましたらよろしくお願いたします。</p> <p>利用する側の思いもおありでしょうし、こどものその保育園が丁度こども誰でも通園制度をしていただけるということなので、受け入れる側の思いもおありかなと思うのですけれども。もちろん、それ以外の委員の方々も、何かございましたらぜひお声を聞かせていただけたらと思います。</p> <p>新しく始まる制度ということで、園内でも、先生方、いろいろな不安というか、心配というか、こういうことは大事だからここに気をつけていこうとか、いろいろなお話があったのではないかと思いますので、受け入れる側のところとして、ご意見をお聞かせ願いたしたいと思います。</p>
委員	<p>園で一時預かりをさせていただいていまして、その時から、入院ですや、産後で帰ってきた間見てくださってという方もおられる反面、ご家庭以外に預けて、他のお子さんの発達と比較して、ご自身のこどもが調子調な発達しているのかといった不安であるとか、思いであるとかを抱えながら預けてくださる方も、やはり一定数おられます。そういうことが面談の中で、すごく伝わってくることもありまして、こういうところにこども誰でも通園制度が必要とされているだろうし、そのときに、お母さんの不安だけではなく、家庭でお母さんが不安を持ちながら保育しているところのお子さんに、保</p>

	<p>育・教育っていうところを援助する場所にならないといけないんだなと感じておりました。</p> <p>そんな中で、こども誰でも通園制度を受けていこうと法人の方で決め、実施させていただくことにしております。</p> <p>ただ、まだ始まっていないので、一時預かりとの違いを、どれだけ保護者の方や職員と分かち合えるかという不安があります。研修に行きますと、小さいお子さん、特に0歳児の利用が多いと聞いておりますので、安全面をしっかりと確保しながら、現園児に加えて受け入れたいと思います。初めて短時間で来るお子さんは、慣れた頃にお休みの期間があったりして、通園してくださっているお子さんとやはり違うこともありますので、そこへの配慮がどのくらい必要になるのか、どのように出来るかは、手探りの部分もありつつ、しっかり面談していきながら保護者の方と連携をとって、職員とも連携をとって、市町とも連携をとりながら進めていかないといけないなと考えています。</p>
部会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>お話を聞かせていただいていたら、最初に保護者の不安も受けとめていきたいって言うてくださって、制度としては、一時預かりとこども誰でも通園制度は別となっているけれど、預かった側としたら、こどもも保護者も両方合わせて一緒に支援していけたらなという思いで取り組んでくださるのだなというところが、とてもよく伝わってまいりました。</p> <p>0歳児の安全面は本当に心配になりますよね。</p> <p>こういう制度を利用していく側になったとき、以前に、こどもの障害があるとかなしとか、支援が必要だとか、そういう関係なく受け入れて欲しいよねというお声もこの会議では出ていたかなと思います。</p> <p>もちろんこちらにいらっしゃる先生方も預ける側になることもあるかもしれないですが、保護者代表で来てくださっている方たちから、預ける側の思いみたいところで、さらにこんなことがあれば良いなとかいうお声があれば、聞かせていただけたらと思うのですが、いかがですか。</p>
委員	<p>私のこどもはもう年長だからなのかもしれないですが、詳細をまだ知らないです。</p> <p>私はこの会議に来ているから分かるけれど、お迎えに来ている保護者の方と話していると、高砂市も実施することを知らない方もまだいるのかなと思いました。</p> <p>どのように通知をされているのかなと思いました。もっと詳しく知らない、預けて良いのか分からないです。一時預かりと同じように考えると、兄弟がいて上の子の行事で少し下の子を預けたいときとかに使うことを知らないのかなと思います。もっと詳しく</p>

井上部会長	<p>く内容をみんなが知っていたら、相談もできる。分からないことを使うのはこわいので、そういう不安が少しあるのかなと感じます。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>これはどのようにこれから周知していこうとされているのかというご質問ですね。まだ今のところは、このような制度がスタートするというのも、あまり皆さんご存知ないのではないかとということなので、周知の仕方とこれからの方針みたいところを事務局の方からお答えいただけたらと思います。お願いします。</p>
事務局	<p>ホームページに掲載してはおりますが、4月からこのような制度が始まりますという案内でしかありません。また認可がされていないので、具体的にこの施設でしますなども掲載していませんが、認可ができ次第、ホームページや広報誌など、市民の皆様の目に触れるようなかたちで周知していきたいと考えております。</p> <p>以上でございます。</p>
部会長	<p>広報誌とホームページでということですけど、他にこういうところにも周知があればより伝わるのではないかとご意見がございましたら、お聞かせいただけると、今後より周知しやすくなっていくかと思うのですが、他にございますか。いかがでしょうか。</p> <p>こういうところにもあった方がいいのではないですかみたいなことはありますか。</p>
委員	<p>すぐ思いつくのは、ユアアイ帆つとセンターの子育て支援センターにポスターが貼ってあったら、小さいお子さんを連れてこられるお母さんたちがたくさんいるので良いかなと思います。</p>
部会長	<p>すごく願ってくださっている委員もいかがですか、今のご意見。</p>
委員	<p>追加して、1歳半健診などで直接チラシを見て、こういう制度があるよ、お母さん良かったら利用してねって言ってもらえると、どのような制度かを聞ける。チラシだけでは多分分からないお母さんもいらっしゃると思います。利用して良いんだよってもらえると良い。お母さんの立場から、こどもを預けて少しリフレッシュすることもこの制度の目的の一つだと思うので、利用して良いんだよって言ってもらえる、みんなで育てるから良いんだよって言ってもらえる安心感があると、利用してみようかなと思えるのかなと思いました。</p>

<p>部会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>みんなで育てるといいお言葉をいただけたかなと思います。</p> <p>子育て支援センターや1歳半健診のときに、こどものための制度であることや難しいことよりも、こどもをみんなで育て、こどもたちがみんなの中で育っていくことを応援する制度が出来たという感じで周知していけたら、利用するハードルが下がるのかなと思います。</p> <p>この制度の本質的に、こどものためにこの制度があって良かったとなるかなと思います。</p> <p>今、具体的なご提案をいただいたので、ぜひ広報周知の仕方として、ご検討いただけたら良いかなと思います。</p> <p>他にこの制度につきまして何かございますでしょうか。</p> <p>何かございましたらお聞かせください。さらにこのような広報の仕方もありますよということはどうでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>広報の仕方が今すぐには浮かばないです。</p> <p>米田西保育園はまだこども誰でも通園制度を実施しないですが、一時預かりをしているので、その宣伝と一緒にのかなと思いました。</p> <p>ホームページに掲載したり、園舎外のフェンスに貼ったり、他に小児科にパンフレットを置かせていただいたりしています。子育て中の保護者の方々が行くところで、目につくところに置いてあると、気兼ねなく聞けたり、検索が出来たりするのかなと、いろいろなお話を聞いていて思いました。</p> <p>私は加古川市に住んでいるのですが、高砂市はすごくあたたかいので、置いてあるのを見て、気になったら必ず手に取ろうと、私も働きながら思います。置いていることで、輪が広がっていったり、こども誰でも通園制度のことが少しでも目に触れられて、知られて、利用が出来るように繋がるようなものになればかなと思います。</p>
<p>部会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>今日のご欠席ですけれども、お願いしたら小児科にも置いていただけたらいいかなと思います。</p> <p>それでは、次の議題に移らせていただきます。</p> <p>議題の2、認定こども園こどものその保育園の建て替えについて、事務局からご説明をお願いいたします。</p>

	(2) 認定こども園こどものその保育園の建替えについて
事務局	【事務局より資料5, 6に基づいて説明】
井上部会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>事務局からの説明が終わりました。</p> <p>ただいまのご説明につきまして、ご意見、ご質問等がございましたらお願いいたします。</p> <p>補足の説明等がございましたら、ご説明していただけたらと思います。</p>
委員	<p>今お話がありましたように、この度、建て替えを検討する運びとなりました。</p> <p>こどものその保育園は、昭和4年に、農村地帯のお母さん方がお仕事をする間のこどもたちを預かる施設として開園され、少しずつこどもたちが増えていって0歳児保育等が始まり、認可園になり、こども園にもなりという感じで、地域の中で育てていきながら、大きくなってまいりました。</p> <p>そのたびに少しずつ増築・改築を繰り返してきました。</p> <p>一度は頑張って建て替えもしたんですけども、老朽化、そして昔の建て方で増改築を繰り返しているの、衛生面の問題や、風が入ったらいけないところに風が入ってきたり土が入ってきたりします。防犯についても最近状況が変わってきましたので、なかなかこどもたちの安全を守れないというところになりまして、新築で建て替えて、今後高砂市曾根町のこどもたちを安心して預らせていただけるように頑張りたいなというところで、建て替えを検討させていただいております。</p>
部会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>防犯上のことなど、きっと新園舎は楽しい建物建つのだらうなと思いました。</p> <p>別の場所で予定地が見つかったというところで、保育もずっと継続しながら建て替え移転ができるということですよ。すごく良いですよ。</p> <p>今この会議の中で、お尋ねすることではないかもしれませんが、跡地はどうなるのでしょうか。</p>
委員	<p>今の園舎の跡地はまだ何も決まっています。建て壊しはしない予定です。法人が移行した時の前の法人の建物と重なっている部分があるので、簡単に潰すことができないためです。跡地のことも考えてまいりたいと思います。</p>

	<p>曾根町で、地域のこどもたち、地域の人たちに還元できるようなことも考えていきたいなと思っております。新しい建物は今よりも防犯面をしっかりとし、安全面を保ちながらも地域ともっともっと繋がっていけるような建物にしていきたいと検討中です。</p>
<p>部会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>資料6を見せていただくと、現在地と建て替え予定地の場所をお示しいただいていて、同じ丸で囲われているのですが、立て替え予定地はかなり広くなると思っていいますか。</p>
<p>委員</p>	<p>そうです。</p> <p>実は保育園から認定こども園に移行した時に、園庭が少し手狭であったのですが、県の移行措置を利用して、今らせていただいていることもありまして、より今のこどもたちに適した広さにするために広がります。</p>
<p>部会長</p>	<p>そこで誰でも通園制度もしていただけるというプランが進んでいるということではないかなと思います。</p> <p>他に何かございますか。皆さん何かお気づきのことやお尋ねしたいことがあれば、ご意見いただけたらと思いますけれどもいかがでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、次の議題に進めさせていただきます。</p> <p>議題の3、こども向けオンラインアンケートについて事務局からご説明お願いいたします。</p> <p>(3) こども向けオンラインアンケートについて</p>
<p>事務局</p>	<p>【事務局より資料7に基づいて説明】</p>
<p>部会長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>事務局からの説明が終わりました。</p> <p>ただいまの説明につきまして、ご意見ご質問等がございましたらよろしくお願いたします。</p> <p>学校の方ですごくご協力をいただいたので、この結果を手にすることができたのかなと思うのですが、このアンケートを学校で行うことに対して、先生方はどのようなお気持ちでご協力くださったのかや、アンケートに回答したこどもからいろいろな声ももし出ていたら、ご紹介いただけるとありがたいです。</p>

委員	<p>先生方はとても協力的で、職員朝会の場とかで、協力してくださいと言ったら、しませすということでした。</p> <p>こどもの方の反応は淡々と終わったという感じです。反応は特に掴めていません。</p>
部会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>すごくこどもが感動していたら、こんなアンケートがあったと言うと思うので、こどもたちも淡々とアンケートに答えてくれたのだらうと思います。</p> <p>私の方から質問させていただいてよろしいでしょうか。資料7の2ページ、回答率が上がったということですが、率としたら何%になるのでしょうか。何件とは上がっているのですが、私が小学生が何人いるとかが把握できていないので、回答率をお答えいただけたらと思います。</p>
事務局	<p>割合を算出したときには、小学生も中学生も大体50%から60%の間でした。おそらく55%くらいの割合だったかと思います。</p>
部会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>ということは、ホームルームとかでお願いをしても、その場で回答していないこどもたちも大体40%ないし50%はいるということですね。</p> <p>80%とかまで上がったのかなと少し思っていたんですけど、意外と50%から60%ということに、そうだったんだと思いました。</p>
事務局	<p>すべての学校にホームルームで絶対にやって欲しいっていうような依頼はしておりませんで、時間があればホームルームでしていただいて、難しいようであればご家庭や空いている時間にさせていただくようなご案内をして欲しいというお願いの仕方でしたので、50%くらいだったのかなと思います。</p>
部会長	<p>分かりました。</p> <p>予想としては、みんながやっている中でやらなかった子がいるというよりも、こどもたちへのお願いの仕方がそれぞれ学校によって違っていったということですね。</p> <p>もう一つあるのですが、小、中、高で、それ以外の22件ってどのようなこどもたちがそれ以外に入るんですか。</p>

	<p>併せて分かれば教えていただきたいのですが、読んでいることも達585件というのが出ておまして、読んでいることもたちの小、中、高の内訳とかが出ていれば教えていただけたらと思います。</p>
事務局	<p>まず1点目ですけれども、その他はボタンの押し間違いのようで、特に年齢不詳の方から回答があったとかではないようです。</p> <p>読んでいる方の内訳はまだ出しておりませんので、改めて分析のほうを進めていきたいと思います。</p>
部会長	<p>よろしく願います。</p> <p>読んでいない方には、なぜ読まないのかを聴いてくださっているのですが、読んでいない方たちの、読んでどう思うのかについて、このアンケートでは聴いておられないですね。</p>
事務局	<p>はい。</p>
部会長	<p>聴いてみたかったと思うのは私だけでしょうか。</p> <p>実際私自身が、小、中、高の時代に広報を呼んでいたかという、私は読んでいなかった方なので、読んでいる子どもたちが、何を求めて読んでくれているのか、585件の子どもたちの声をすくい上げてみたいなと思いました。</p> <p>今後そのようなことをお聞きできる可能性があれば、今後広報をどのように子どもたちにも読んでもらえるものにしていくのかというところに繋がるのかなと思うのですが、そのあたりはいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>まずは広報たかさごの読了調査に4,022件もの多くの児童・生徒に協力していただいたことに敬意を表したいと思います。ありがとうございました。</p> <p>先ほどのご質問の件ですが、広報を積極的に見ていただいている子が、一体どの部分かというのは、委員からご質問がありましたように、今後の課題としてさらに深掘りを進めていきたいと思います。今回どのような理由で読んでいないのか、そのような子たちにいかに興味を持っていただけるような広報づくりに努めていくかという考えから、読んでない側に向けた質問を深掘りしたところがあります。内容については、分析を進めます。</p> <p>全世帯に対して、紙媒体としてお届けをしている広報たかさごですので、この利点を活かしまして、児童・生徒にも今後自宅で気づけば手に取ってもらえるような、目で見</p>

<p>部会長</p>	<p>て視覚的に訴求できるような広報誌の編集に努めてまいりたいと考えております。私からは以上です。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>斬新な取り組みかもしれないと思うのですが、小学生新聞みたいなものがあります。1ページはこども向けに広報が作られている高砂市って、ものすごくこどものことを大事にしているアピールになりそうな気がします。</p> <p>委員の皆様から、高砂市の広報がこのようになってくれたら良いよねというお声を、ぜひこの場に出していただけたらと思うのですが、いかがでしょうか。</p> <p>多分日頃読んでおられる方がほとんどだと思いますので、ぜひお声をお聞かせください。いかがですか。</p>
<p>委員</p>	<p>対象が小中高校生なのに、高校生が少なすぎると思いました。何十年前ですが、受験のときに小論文対策で、新聞や広報をいろいろ読んでいたなと思い出しました。</p> <p>小学生の低学年は多分また読んでも分からないし、そもそも読めない子も多いので、中高生の方がリアルな意見になってくると思うのですが、高校生に向けてはなかったのかなと思います。いろいろな学区から高校に行けるので、皆が高砂市出身なわけではないから、高校に案内するというのは難しいのかもしれないですけど、高校生も対象ならもう少し何とか伝えることはできないものかなと少し疑問に思いました。この、小、中、高で考えるなら高校生がまだ一番読むのかなと少し疑問に思いました。</p>
<p>部会長</p>	<p>一番読んでもらえそうなのは高校生ですが、4件しかないですね。やはり学校にお願いすることができなかった結果と理解しているのでしょうか。</p> <p>4件しか回答が得られなかったという回答率の低さは、どういうところが理由かということですよ。</p>
<p>事務局</p>	<p>広報の端の立場からですが、先ほど事務局から説明がありましたように、まさに委員がおっしゃられましたように各学校に対して周知できなかった部分に加え、おそらく目にいただけるチャンスとしてのSNSの発信等かと思います。SNSはフォローしていただいで初めてその方にリーチできるという部分があります。広報の立場からなりますが、より多くの方にSNSを通じて発信するのであれば、より多くの方にフォローしていただくという仕掛けが必要かなと考えておるところです。</p>
<p>部会長</p>	<p>全部リンクしているということですね。</p>

	<p>SNSに登録していただけたら高校生の子ももっと聴くことができるだろうというところで、きっといろいろな知恵を出し合うと、まだまだ改善していけるところがたくさんありそうな気がします。ぜひこのアンケートをまた基にして、新たな子どもたちへの取り組みなども考えていただけたらありがたいと思います。</p> <p>他に、このような広報だったら良いみたいなご意見があれば挙手していただけたらと思います。</p> <p>では、議題は以上となっておりますので、その他として事務局から何かございましたらお願いいたします。</p> <p>3 その他</p>
事務局	<p>ご報告となります。</p> <p>結っこりん相談について、以前の会議でご報告させていただいたものですが、現在の状況についてご報告させていただきます。</p> <p>運用開始後、結っこりん相談を通じて、県のLINE相談に繋がったものが2件ございました。県のLINE相談については、従前からある相談窓口になります。</p> <p>周知を強化する目的で、結っこりん相談の中でも案内しているもので、市を通さずに利用者の方は直接県のLINE相談を利用できるものになります。</p> <p>今回の2件につきましては、利用者の方が子ども窓口課にメールが届くかたちで利用されたため、把握できた件数になっております。2件の相談内容につきましては、個人情報のため、県を通じても確認は出来ておりません。</p> <p>今後も、少しでも子どもの目に届くようなかたちで周知をしていけたらと考えております。報告は以上です。</p>
部会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>どのようにして子どもたちに周知するのかというところの話に戻ってきた気がするのですが、結っこりん相談について事務局からご報告いただきましたので、何かこれに関しまして、ご意見ご質問等ございましたらお願いいたします。</p> <p>こういう相談があるらしいみたいなのが、例えば学校で子どもたちが話をしているとか、そのようなことはございますか。</p>
委員	<p>全く。子どもの中からは聞かないです。</p>
部会長	<p>先生方はかなりご存知なのでしょうか。</p>

委員	<p>あまり知らないのかなと思います。</p>
部会長	<p>相談したいような悩みをたくさん抱えている方がたくさんいる高砂市は決して望ましい状態ではないと思いますので、相談件数が多いから良いという問題では全くないと思います。</p> <p>でも、相談したいと思っている人が、こういうものがあるってということに出会うことができなかったとしたら、どのようにして知らせていくのが、今後の課題になるかなと思いました。</p> <p>届けたい人に届かなければならない情報を適切に届けていくためにはどうしたらいいのかというところで、特に相談に関することだったら、力を奪われているような悩みを持っている人ほど、広くいろいろなものがあるということに目がつきにくくなってしまっているところがあります。日頃からそこかしこに当たり前にいろいろな情報があつて、しんどくなる前からあることが分かっているような状況を作っていくことが大事かと思います。</p> <p>結っくりん相談、このようなことはどうですか等、何かあれば、さらにご意見をいただけたらと思いますけれどもいかがですか。</p> <p>2件をどう判断するかは難しいです。例えば100件ですと言われたら、それはそれで高砂市はどうなっているのかと思ってしまうよね。相談しなければならぬことを抱えている人がこんなにいるのかとなってしまう。まだ始まったばかりですので、状況なども聞かせていただきながら、周知がもっと必要だとなれば、周知の方法を考えていただけたらいいのではないかと思います。</p> <p>他に事務局から何かございますでしょうか。</p>
事務局	<p>高砂市子ども・子育て・若者会議条例第4条に基づき、子ども・子育て・若者会議委員の任期は、2年となっております。</p> <p>現在の委員の皆さまの任期は、令和8年6月末までとなりますので、令和8年度の子ども・子育て・若者会議では、新しい委員をお迎えし、計画等について、引き続きご審議いただくこととなります。</p> <p>継続して、委員をお願いする方もいらっしゃるかと思います。委員の皆さまには、2年間お力添えをいただきまして、ありがとうございました。</p> <p>以上です。</p>

<p>部会長</p>	<p>多分継続して委員を務めてくださる方もいらっしゃるかと思うのですが、2年間ということですので、この会議に参加してくださった感想などを一言ずつでもお聞かせいただけたらと思います。</p> <p>今日は、たまたまご欠席の委員が多く、少ない人数でしたので、一言ずつお聞かせいただけるかなと思います。参加しての感想ということで結構です。</p>
<p>委員</p>	<p>私は今年度からのお世話になっておりますので、10か月ほどでしたが、参加させていただく中で、こども誰でも通園制度等を学ばせていただいたので、大変勉強になりました。ここに来させていただいていなかったら、多分知っていなかったのだろうなと思っていますので、いろいろ勉強させていただいてありがとうございました。</p>
<p>委員</p>	<p>私も何年か委員をさせていただいて、自分の園や高砂市内の園というところを飛び越えて、こどもたちが幸せになるためにすべきことや、そのこどもたちの幸せのためにこれだけたくさんの方々がいろいろなことを考えてくださったり、より良くしようと動いてくださることもよくわかりました。私たちがすることは何なのかなというところも、もう一度考えながらやっていきたいと思っています。</p> <p>園長先生同士で共有したり、職員と共有したりしながら、高砂市のすべてのこどもたちが幸せになるように、微力ですがやっていきたいと、いつもこの会議に出させていただきながら思うこと。この会議に次出るかどうか分からないですけれども、引き続きその思いを持ち続けていこうと思っています。ありがとうございます。</p>
<p>委員</p>	<p>私も今年度から参加させていただいていて、こどもを中心にいろいろな立場の皆さんとのお話ができるのがすごく良いなと思いました。</p> <p>私もこの会議から帰ると、主任と話をしたり、共有したりが出来ていたので、すごく良い時間をここで過ごすことが出来るということを参加させていただいて知ることができました。ありがとうございます。</p>
<p>委員</p>	<p>私も1年目の参加ですが、タイムリーに保育園のことも議題にあげていただいてありがとうございます。</p> <p>私もここでお話を聞かせていただいて、枠組みは紙媒体で知るけれども、そこにどのような必要性を感じてくださっているのかや、どのような疑問があるのかかという物事の本当の意味みたいなことが、しっかりいろいろな角度から聞くことができました。</p>

	<p>こどもたちと歩んでいく者として、真摯に受けとめて、何ができるのかということを考えていただける機会をいただけたことを感謝しております。今後ともよろしく願います。</p>
<p>委員</p>	<p>今年度たまたま保護者会の会長にあたっての参加でしたが、この会議に参加することによって、当事者になりました。今までは貼ってあっても多分目にしていなかったんですけども、園で掲示されているものを読むようになったり、いろいろな情報があるということを知りました。勉強になりました。ありがとうございました。</p>
<p>委員</p>	<p>私は2回目の参加で、前回は5年ぐらい前だったかと思います。その時はまだ病児保育が一つしかなく、話し合いでもう一つ出来たら良いなという話をこの会議でしているのを聞いていました。次に参加したとき、病児保育がもう一つ出来ていて、すごいなと思いました。話し合って出来ていくんだなと思いました。たくさん勉強させてもらいました。ありがとうございました。</p>
<p>部会長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>このように、いきなり意見を求めても、皆さんきちんとお考えをお話していただけるので、私自身はすごく進めやすかったです。</p> <p>至らないところもたくさんある部会長ですけれども、今お聞きしていると、この会議で話したことを持ち帰って園で共有していただくとか、学校で共有していただく等、私たちは何が出来るのだろうかと考えられていることが分かりました。</p> <p>この会議で決まったことに追加して、自分たちは何が出来るのだろうかという思いで、ずっとこどもたちのことを考えてくださっていたということを開かせていただきました。そのような場を一緒に共有させていただけたことが、とてもありがたいし、嬉しいなと思いました。</p> <p>至らない司会進行で申し訳ないなと思いながらでしたけれども、心地良い時間を過ごさせていただきました。きっとこの心地良さは、高砂市のこどもたちの心地良さに、繋がっていく大人たちの集まりなのだろうと思っております。</p> <p>引き続き、高砂市のこどもたちのことを皆さんと一緒に私も考えていくことが出来たらと思います。</p> <p>場所は高砂市ではないかもしれませんが、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは議題はこれで終了となりますが、何か言い残したことや、もう一回質問しておきたいこと等、何かございますでしょうか。終わらせていただいて大丈夫ですか。</p>

	<p>それでは以上をもちまして、令和7年度第2回高砂市子ども・子育て部会を終了します。委員の皆様には、高砂市の子育てに関する支援等につきまして、ご意見をいただくなど本当にご協力ありがとうございました。</p> <p>それでは、事務局の方にお返しいたします。</p>
事務局	<p>部会長並びに委員の皆様、誠にありがとうございました。</p> <p>長期にわたりご協力いただきました委員の皆様へ、事務局よりご挨拶申し上げます。</p>
事務局	<p>本日は、お忙しい中、また、お仕事をお疲れのところ、また、保護者の皆様には大変出にくい時間にご参加いただきましてありがとうございます。</p> <p>委員の皆様には、本日をもって2年間の委員が終わられるというところでございますけれども、この間、特に昨年度におきましては、子ども・子育て・若者支援プラン、本市の子育てのまさに中心となる施策を詰め込んだプランの策定に、多くの貴重なご意見をいただきまして、本当に心より感謝申し上げます。</p> <p>今年度はそのプランの初年度ということで、市としても、様々な皆さんからのご意見を活かした施策に取り組み、進めておるところでございます。</p> <p>今後も高砂市がこどもを真ん中に据え、安心して暮らせるまちであり続けるよう、先ほども皆さんからの感想としてありましたけれども、学校・園の現場の現状、また、保護者の皆さんにつきましては、今現在、子育てをされておるとは思いますけれども、当事者の声をしっかり活かしながら、高砂市の施策をますます推進できるように繋げていきたいと思っております。</p> <p>結びになりますが、本日2月4日は暦の上では立春でございますけれども、大変まだ寒い日が続いております。お体には気をつけていただき、ますますのご活躍を祈念いたしまして、2年間の多大なるご尽力に感謝申し上げます、終わりの挨拶とさせていただきます。</p> <p>本当にありがとうございました。</p>
事務局	<p>それでは以上をもちまして、令和7年度第2回子ども・子育て部会を閉会いたします。どうもありがとうございました。</p>